

昨年度はコロナで中止になりましたが、今年度は、姫島ハッピーフェスティバルを無事に実施することができました。ほんとうによかったです。

ハッピー＝楽しくて幸せ。フェスティバル＝催し物。

開会式で、「コロナということをわすれずに全学年楽しく思い出に残る最高の日にしよう」という「めあて」が示されましたが、その「めあて」どおりに、みんなが楽しく幸せな気持ちになれる時間をすごすことができたと思います。全部のお店をみてまわりましたが、どのお店にも楽しんでいる笑顔がたくさんあって、校長先生は幸せな気持ちになりました。

たてわり班で準備をしている時から校長先生はようすを見にまわっていましたが、どのたてわり班も、「どうすればみんなを楽しませることができるか」――一生懸命に考えていました。準備の作業をがんばっていました。そして、今日のお店の役割もしっかりと果たしていました。「みんなが楽しくすごせるようにがんばる。」これはとても素敵で大切なことだと校長先生は思います。

「みんなが楽しくすごせるように。」

「みんなが安心してすごせるように。」

「みんなが温かい気持ちですごせるように。」

みんなのために自分ががんばる。このハッピーフェスティバルの経験を、ぜひ、今後に生かしてほしいと思います。

もう1つ、とても素敵で大切なことだと校長先生が感じたことがあります。それは、6年生から1年生のたてわり活動です。上級生は下級生のためにリーダーとしてがんばる。そして下級生はそんな上級生を頼りにしてあこがれる。とても素敵で大切なことです。昨年度も今年度も、コロナでなかなかたてわり活動をおこなうことができなかったですが、少しずつ、そんな素敵で大切なたてわり活動を今後もおこなっていきましょう。特に6年生。とてもがんばっていました。最上級生としてとても頼もしく感じました。

それでは、最後に、楽しくすごせた時間と、そんな時間をつくったみんなのがんばりへの「ありがとう」の気持ちを、みんなで拍手して伝えあいましょう。～拍手～

以上で、校長先生のお話を終わります。